



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

■平成30年第1回定例会	2
■当初予算(案)に対する質疑	5
■一般質問(6名)	6
■討論	12
■委員会ノート	13
■閉会中の継続審査	15
■視察報告	17
■町議会日誌	18

第52号

(相見保育所 4歳児)

平成30年度予算可決、成立

総額139億3,889万1千円

平成30年 **定例会** 第1回



第1回町議会定例会が、去る3月8日から16日にかけて開催され、平成30年度予算関係の議案8件、平成29年度補正予算関係の議案6件、条例の制定・改正関係の議案18件の合わせて32件の議案が提出され、審議が行われました。また、専決処分の報告として補正予算1件が報告されました。

(写真は本会議中、宝達町長が提案理由を説明している場面)

平成30年度 予算額と採決の状況

会計名	予算額	前年度比	採決の状況	
一般会計	69億6,000万円	▲9.4%	賛成6、反対5で可決	
特別会計	国民健康保険	14億8,920万2千円	▲21.8%	全員賛成で可決
	後期高齢者医療	1億9,653万3千円	10.2%	〃
	介護保険	18億2,448万4千円	1.3%	賛成10、反対1で可決
	ケーブルテレビ事業	7,422万5千円	2.8%	全員賛成で可決
事業会計	水道事業	5億2,496万1千円	8.0%	賛成7、反対4で可決
	下水道事業	14億1,001万1千円	▲0.7%	〃
	病院事業	14億5,947万5千円	▲22.5%	全員賛成で可決

◎H29補正予算関係

会 計 名		補正後の予算額	補正額	採決の状況
一 般 会 計		74億1,651万4千円	▲1,898万1千円	全員賛成で可決
特別会計	国 民 健 康 保 険	19億2,750万7千円	14万9千円	〃
	介 護 保 険	17億3,783万2千円	▲8,376万円	〃
企業会計	水 道 事 業	4億8,421万3千円	42万1千円	〃
	下 水 道 事 業	14億2,688万3千円	436千円	〃
	病 院 事 業	17億5,770万9千円	▲1億2,664万7千円	〃

◎条例関係

◆ 宝達志水町議会の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

人事院の給与の改定に関する勧告に準拠して、議員の期末手当について引き上げを行う。

年間3.20月分↓年間3.25月分

〔賛成10人、反対1人〕

◆ 宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

人事院の給与の改定に関する勧告に準拠して、常勤の職員の期末手当について引き上げを行う。

年間3.20月分↓年間3.25月分

〔賛成10人、反対1人〕

◆ 宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

人事院の給与の改定に関する勧告に準拠して、常勤の職員の期末手当について引き上げを行う。

年間4.30月分↓年間4.40月分

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町防災会議条例の一部を改正する条例

目的・概要

近年のゲリラ豪雨や土砂災害などの災害が頻繁に起こることや多種多様な防災業務のため対象となる関係機関の委嘱者を幅広く明確にする。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

消防団の充実強化を図るため、退職した消防職員や退団した消防団員等が、主に昼間の火災発生時や大規

模災害時等に限定して消防団員の活動支援を行う機能別団員制度を導入する。

〔全員賛成〕



(宝達志水町消防団辞令交付式)

◆ 宝達志水町議会の議決すべき事件を定める条例

目的・概要

本町における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための指針として算定する基本構想を、これまで地方自治法に基づき議会の議決を経て定めることとされてきたが、法改正により議決事項でなくなった。しかし、

町の最上位計画であることから今後も従前どおり議決事項とする。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町企業立地促進法第10条第1項に基づく緑地面積率等条例の一部を改正する条例

目的・概要

法律に基づく基本計画に定められた重点促進区域において、緑地及び環境施設の面積のそれぞれの敷地面積に対する割合を緩和するほか、対象地域に門前地区および今浜地区を追加し、敷浪地区を甲種地域に変更する。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

地域経済牽引事業の促進に関する基本的な計画に記載された促進区域内において、地域経済牽引事業の用に供する施設で、取得価格などの一定要件を満たすものを新設又は対する固定資産税について、3年間課税を免除する。

〔全員賛成〕



◆ 宝達志水町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例

目的・概要

介護保険法の一部改正に伴い、居宅介護支援事業所の指定権限が平成30年4月から都道府県から市町村に移譲されることに伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町民センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

目的・概要

宝達志水町民センターの利用促進を図るため、全室一律に1か月団体定額使用料を設定する。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町国民健康保険条例の一部を改正する条例

目的・概要

法改正に基づき、「国民健康保険運営協議会」を「国民健康保険事業の運営に関する協議会」に改める

等、字句の改正を行う。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町国民健康保険条例の一部を改正する条例

目的・概要

平成30年度の国民健康保険事業費納付金等の額が確定したことにより国民健康保険税率の見直しを行う。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町国民健康保険基金条例の一部を改正する条例

目的・概要

法改正に基づき、「国民健康保険運営協議会」を「国民健康保険事業の運営に関する協議会」に改める等、字句の改正を行う。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

国民健康保険の被保険者で住所の特例の適用を受けているものが、後期高齢者医療制度に加入した場合には、当該住所の特例の適用を引き継ぐことの改正を行う。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町介護保険条例の一部を改正する条例

目的・概要

第7期介護保険事業計画が平成30年度から平成32年度まで実施されることに伴い、保険料に係る適用期間を改める。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

目的・概要

下石浄水場内の取水井戸の変更に伴う変更認可申請を行うにあたり、現認可の給水人口及び給水量が実績

値と大きく乖離していることから変更認可に合わせて修正する。

〔全員賛成〕

◆ 宝達志水町公共下水道条例等の一部を改正する条例

目的・概要

下水道使用者の家計負担の軽減を図るため、下水道使用料のうち、基本料金の見直しを行う。
基本料金 2,300円 → 1,800円

〔賛成6人、退席5人〕

◆ 宝達志水町生涯学習センター条例の一部を改正する条例

目的・概要

生涯学習センターの利用促進を図るため、全室一律に1か月団体定額使用料を設定する。

〔全員賛成〕

当初予算(案)に 対する質疑

問 小島議員

平成30年度予算案で歳入の町税が伸びている。前年度から比べると1億円以上伸びている。

ところが、町長の提案理由の説明では、「町税と地方交付税は減っている。だから、厳しい財政環境にある。よって行財政改革を実行する」とある。どっちが正しいのか。

答 町長

今後、減少していく分としては、まず人口減少が見込まれることである。そして、合併による地方交付税が



小島 昌治 議員

徐々に減少していく。これらを厳しい財政状況の理由としてあげている。

一方で、今年度は、法人税を中心に太陽光発電設備の償却資産が増収となる。そういった認識を述べたものである。

問 守田議員

平成30年度一般会計予算案のうち、学校教育費の小学校、中学校の学校給食業務委託料が昨年より大幅に増えている。その理由は何か。そして、それは、給食費に影響があるのか。すなわち保護者負担につながるのかどうか。

答 町長

委託業者からもう少し上げてほしいと依頼があり、給食を提供する実態に合わせて人件費のことなど双方で何度か協議をした結果、今年度から増額するものである。給食費については、現在のところ値上げは考えていない。



守田 幸則 議員

問 守田議員

給食費については、値上げをしない。すなわち保護者負担がないということは、一つの少子化対策、また、子育て支援策の一環であろうと思うが、委託業者と協議の結果、昨年と比べてどれだけ上がったのか。当町の場合、給食室で給食を作っている。これは、他の自治体と違ったところである。町の良さである、温かい食材を温かいうちに提供する素晴らしいことである。そして、近年の生徒の減少にも影響があるのか、そういったことにつながってきているのか。

答 町長

各学校において生徒が減少傾向にあり、それでいて単価当たりで言うと経費はだんだん

ん上がっている。そういった傾向は、確かにはある。

答 学校教育課長

給食食費委託料の値上げによる増額となる部分については、小学校で505万2千円、中学校で256万2千円の増となっている。

問 守田議員

大幅値上げになるといふことであるが、生徒数の減少も大きく経費に跳ね上がっている。すなわち、統廃合をしていけば、その辺も緩和されていく。逆に考えたらそういう意味合いであると受け捉えもできる。業者と協議をした結果という事であったが、他のところと比較してどうなのか。

答 町長

統廃合するかしらないか考える際には、そうしたことも大切な材料として考えなければならぬ。

答 学校教育課長

他町との比較は行っていない。一つの業者としてこれまで随意契約としてきたものである。過去3年間の実績とこれからの3年間を比較して、小学校で年間2万4千食、中学校で年間1万6千食減少していく。給食調理員の人数は、ほぼ変わらない状況で、1食当たりの単価は決まっているので、総額で業者の収入が大きく減少する。このことから、数回交渉したうえで、単価設定した。



下水道料金を値下げする理由は

町長 人口減少の歯止めの一策としたい



塚本 勇人 議員



(下水道処理施設 今浜浄化センター)

問 今回、下水道料金を値下げされる決断となった理由は。値下げによって今後生ずると思われる変化は何か。

答 町長就任時から下水道使用料を見直したいと申し上げており、非常に厳しい財政状況の中にはあるが、下水道使用者の負担軽減、値上げによる未納額増加、加入の有無による不公平感の緩和等を図り、人口減少の歯止めの一策としたい。また、値下げ分の財源を一般会計から補てんすることになるが、福祉、教育、土木、衛生など、ほかの事業

を適切に実施しつつ、財政への過度な負担が生じないように、今後の運営に十分注意していく。

問 下水道料金値上げ後、料金収入額と未納額に対して、どのような変化があったのか。また、値下げによって値上げ前との関係は。

答 値上げ前の平成27年度決算と値上げ後の平成28年度決算を比較すると、約5,800万円の増収となったが、一方で、未収金額も1,400万円増える結果となった。

問 今後の下水道事業全般に対しての方針は。

答 これまで下水道管路による整備を予定していた荻谷の全域、敷浪、柳瀬の各一部の未整備区間については、合併浄化槽による整備に切り替える。中長期的には、処理場の統廃合を行い、徹底的な経費の削減を図っていく。

問 今冬の断水又は減水の原因は、空き家の宅内配管の凍結による破損が原因と言われているが、本



(凍結防止対策をした宝達中学校受水槽)

町の空き家の被害状況は。また、空き家に対してどのような対策をされるのか、断水時の復旧や使用水量の対策も含め、費用負担をどのように処理するのか。

答 正確な被害件数は把握していないが、相当数の漏水があったと思われる。水道に加入したままの空き家に対しては、職員が巡回し漏水の場合、持ち主に修理を依頼する。漏水被害対策については、水道料金の減免の対象となる。

町武道館の改修工事の内容は

町長 ボルダリング設備を新設する



土上 猛 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



(改修工事予定の町武道館)

問 町武道館の改修工事について、2億3,000万円弱の工事費がかかると思われるが、その工事の内訳は。

答 仮設・解体工事、タイル防水工事、屋根・外壁工事、内装工事、電気・機械設備工事等になる。また、改修工事に合わせてバリアフリー化障害者トイレの新設、照明のLED化、トレーニング室に新たなトレーニング機器を導入するほか東京オリンピック

問 旧押水町民野球場跡地の正式種目となったボルダリング設備を新設する。安全設備の設置や指導員も配置する。利用計画を示せ。

答 町内すべてスポーツ施設やその周辺再整備及び活用について検討を図るため、当初予算において、基本計画策定業務委託費を計上し、総合的に計画を進めていきたい。

問 町の施設使用料について、上限を8,000円とした根拠を示せ。

答 施設の利用促進を図るとともに多くの方に利用していただくため、団体定期利用として1か月、8,000円の規定を設けた。また、体育協会や文化協会に加入した場合、半額の4,000円とし、協会への加入促進の効果も期待しており、各協会の活性化等にも期待している。

問 新年度から各種団体への助成金などが割当額が削減されると聞かすが、事実か。

答 補助金の見直しについては、行財政改革大綱実施計画において、平成28年度予算では、各種団体補助金を平成27年度比で10%の削減に取り組んだほか、平成30年度予算では、平成27年度比20%の削減、平成32年度では、30%の削減が計画されている。しかし、それぞれの団体において新規事業等活発化するための新たな取組があれば考慮し、一律の減額はしない。



(さくらドームで練習するゲートボール協会員)

ヘルプマークを導入せよ

町長 町としてなすべきことを調査したい



林 稔 議員

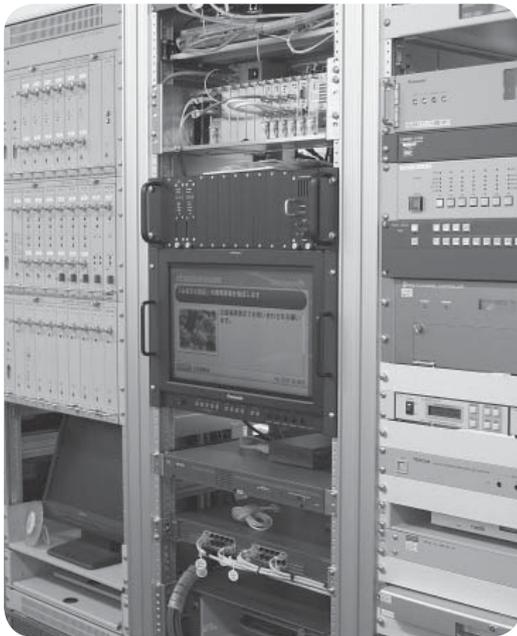


問 ※ヘルプマークは、援助や配慮を必要としていることが外見からわからない人々が周りに配慮を必要なることを知らせることで、援助しやすくするよう東京都で制定されたマークで、平成29年7月20日にJIS規格に採用され、全国共通となった。宝達志水町でも導入すべきでないか。

答 本町でも、誰もが安全で案視して暮らせるまちづくりを進めていく必要がある、この取り組みを効果的に進めるために、県内広域的に連携して取り組むことが大切である。まず、導入する場合には、町としてなすべきことについて調査したい。

問 町の大切な情報発信のためのケーブルテレビについて、現状と今後の更新スケジュールと経費はどうなるのか。

答 平成18年4月の開局以来、施設の老朽化も進んでおり施設の更新を検討する段階に入っている。住民アンケートでは、42%が継続を希望するという結果であった。今後は、通信速度が速い光ケーブルの*FTTH方式への変更が望ましいと考えている。現在の伝送路の同軸線の耐用年数は、15年から20年であることから施設更新については、平成33年度以降を一つの目安と考えている。経費については、6億円の事業費になると試算している。施設更新時には民間企業からの提案型によるプロポーザル方式を考えている。



(役場庁舎内にあるケーブルテレビ機器)

※ ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方のほか、発達障害、精神障害や知的障害がある方などは、援助や配慮を必要としていることが外見からはわからないため、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくするような意思表示の形として、ヘルプマークが導入された。

※ FTTH方式

局（設備センター）から各ユーザー宅側までの間を光ファイバーで結び超高速で大容量の情報が送受信できる通信網。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



柴田 捷 議員

総合戦略を総点検し見直しをすべき

町長 指標を見直し事業の見直しを行っていく



(宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の様子)

問 総合戦略について、今年度の取組結果をどのように評価しているのか。当初設定の基本目標、重要業績指標は現時点で妥当なのか。戦略の見直し、目標や政策の総点検が必要でないか。

答 施策単位で進捗管理や事業効果を検証しており、一定の成果があったものと考えている。4つの基本目標等を達成するため、必要に応じて総合戦略事業の見直し・拡充、また、総合戦略事業以外の子育て支援や住環境整備にも取り組んでいきたい。

問 実務経験のある専属スタッフやサポートスタッフによる専属事務局の設置と官民挙げて地域が連携して人口減少に取り組み組織を設置し、継続的に活動する体制整備、いわゆる攻めの姿勢と体制が求められている。

答 移住・定住については、体制強化のため、実働的な組織と体制づくりについて、実績を有する関係機関との協力や先進事例を参考に検討していく。



(入学式後の教室にて 樋川小1年生)

問 宝たち成長祝い金について、大学などを卒業し本町に定住する人に祝い金を支給することで、定住促進につなげていくことが必要でないか。

答 移住・定住につながるような内容として見直しをかけていく。ホッピーさんカード会加盟店48店舗で利用できる金券を支給している。3月からは金券郵送時に加盟店の

問 タウンミーティングを終えて町長の所管は。

答 多くの町民の皆様にご参加いただき感謝しており、直接、町民の声を聴くことが大切であると改めて認識した。今後もそうした機会をつくり、町政運営の参考にしていきたい。

2級河川宝達川改修期成同盟会を再開せよ

町長 地元の機運が高まれば連携していく



守田 幸則 議員



(2級河川 宝達川)

問 かつて要望活動を行っていた2級河川宝達川改修期成同盟会を再開し、地元と一緒に河川の実情と改修、整備を働きかけ地域住民の不安を少しでも解消し、安全・安心な暮らしを守るのが行政の務めであると思うがいかがか。

答 宝達川については、県としては河川改修は完了し、新たな改修計画はない。2級河川宝達川改修期成同盟会は、休止状態となっており、地元において協議会が再開されれば、町として協議会とともに県への要望活動を実施していく。

問 我が町にとって宝達高校は一つの大きな財産であると考えたとき、学校、地域、行政が一緒になって考え、将来に渡って存続させていくために、今後、さらなる支援策の充実を図り学校の活性化を考える必要があると思うが、どうか。

答 宝達高校は、本町にとっても大変重要な高校であると認識している。今後は、新入生が進学先や就職先について、さらに魅力や希望を見いだせるよう「宝達高校を支援する会」を通じて支援していく。

問 小学校・保育所の統廃合について、タウンミーティングを終え、どのように統括されたのか。

答 タウンミーティングでは、費用対効果に関すること、将来性、客観性、地域性、公平性を考えて様々な意見を取り入れ判断と決断をしてほしい。統廃合は、教育上必要なのか、財政上の必要性なのか等の意見や質問があった。現在、町の考えを具体的に示すことが求められているが、慎重にかつ検討を重ねながら町民の理解を得ることも大変重要と考へ来年度、早々に示し進めていく。

問 保育所の耐震診断で耐震基準を満たしていない北大海第一保育所、宝達保育所は平成30年度は使用しないのか。

答 耐震診断において、問題のあった保育所については、平成30年度も継続して使用することは確実であるが、耐震に関して、統廃合方針を示した後に必要なことは早急に行いたい。

問 下水道料金の値下げは、公約での適正料金なのか。果たして、500円下げることによって、人口減少に歯止めがかかるのか。

答 今の料金では、困っている方も多くいる。料金が適正かどうかは、ほかの事業にも影響が出ないよう、かつ安定した財政運営ができるよう諸条件を勘案した結果、この料金になった。



(北川尻区でのタウンミーティングの様子)

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



小島 昌治 議員

生活扶助費削減の対応は

町長 明らかになった段階で検討する



(宝達区内を除雪するロータリー除雪車)

問 生活保護費の引き下げは、様々な悪影響を及ぼすが、県の町長会を通じてこれを引き下げないよう他の町長や市町に協力を呼びかける必要がある。

答 生活扶助の見直しの内容の詳細が県下で説明されていない。今後、それがどんな影響を及ぼすのか明らかになった段階で、県町長会で協議すべきか検討する。

問 今回の大雪の教訓を受けて、高齢化の進行や除雪機材のオペレーターの減少などどのような方向を考えているのか。

答 今回の大雪であった様々な課題や今後への対応など関係者と協議を重ね、情報を共有し、業者間の応援体制や国・県との連携強化、除雪担当路線の一部見直しなど、除雪体制の見直しに取り組んでいく。

問 臨時・非常勤職員の労働条件改善問題について、法律に見合った地方交付税の充実を国に求めていることが重要である。

答 今回の改正を踏まえ、地方公共団体の取組について今後調査し、地方財政措置については検討することとしている。なお、通達に拘らず、地方負担に伴う改正等がある場合は、町長会を通じて地方財政措置を求めていく。

問 子供の貧困対策について、実態調査の実施を行うことの重要性と町長の県への働きかけを求める。

答 現在の面談で十分な実態が捕捉できないことであれば、また、あるかどうか、まずそこを調べたい。また、エンゼルプランの中身をしっかりと確認したい。



子供の未来は日本の未来

(子供の未来応援国民運動シンボルマーク及びキャッチフレーズ)

討論!



小島昌治 議員

6議案に反対 26議案に賛成

助費の入学支援金が約倍額の4万円超と提案されていることは、議会が視察も取り組んでいる「子どもの貧困対策」の影響が發揮され始めたことを感じる。また、国民健康保険税の引き下げが提案されている。賛成する。

①下水道使用料金の若干の引き下げ案には賛成だが、値上げ前までに戻すには、あと5000万円を下水道会計に繰り入れるだけでできる。財政が大変だった時期でさえ、毎年1億円を繰り入れていたのだから財政状況がよくなった現在では、十分にできるはず。26億円を超える基金(貯金)もある。

また、町民には、財政が大変だといながら町長や議員の報酬を(若干だが)引き上げる議案を提案し、(町民要望の見えない)ポルダリング施設の建設に450万円(実際は1000万円)の予算を提案するというのは矛盾している。

②小中学校の子どもの就学援

る。審議の中で、月々12万円台というのは生活保護の人が受給する生活保護費や医療扶助と大差がないことを私は明らかにし、町長も保険料については「検討課題」と認められた。



久保喜六 議員

2議案に反対

①宝の土地活用事業に挙げられている旧志雄中学校跡地の利活用に係わる2400万円余りについてである。平成26年度に志雄中学校跡地利用懇話会で検討されてきた結果、住宅地だけでなく、休憩施設などいくつかの案が出されたが、新病院の建設を優先することとし、具体的な検討はされ

てこなかった。町長は、昨年の9月第2回定例会において、若者の定住促進、移住促進が図れる住宅地を基本とした整備をするのとことであつたが、先の全員協

議会では、宅地のほか高齢者向けのサービス住宅、商業施設、病院と連携した健康づくりの場などを考えていると、いつの間にか何でもありの答弁になっている。今回の予算措置は、地元にも議会にも寝耳に水のことであり、非常に驚いている。先の総務産業建設常任委員会でも、この土地について質問したが、どれも曖昧で明確な答弁がなかった。町として最も基礎的な構想もないまま、2400万円の費用をはたいて基本計画を業者に委託するのか。町長は、選挙時に小学校・保育所の統廃合について、町が一方的に決め、十分な議論がなされていないと言っていたが、今回の土地利用の基本計画の予算措置は、まさに町長自身が十分な議論や協議もせず、一方的に決めようとしている。今一度、地元や議会と十分に議論を深めることが先決であり、現段階では、認めるわけにはいかない。

②下水道条例の改正案について、基本料金を500円引き下げ、2300円から1800円にする内容である。

しかし、超過料金については、1立米230円のまま、改正されていない。町長は、先より町民の負担軽減のため見直すと言っていたが、今回の見直しは町民の期待するところとなっていないのか。一方で、この改正による下水道事業会計の収入不足は、2000万円余りになると説明があつたが、これを繰出金で補てんするとのことであるが、町長は、選挙時から町全体の事務事業を精査し財源をねん出したいと言っていた。先の常任委員会でも何を見直しするのか質問したが、明確な回答がなかった。議案説明資料では、一般会計からの繰出金は、4700万円余りだが平成34年度には1億8000万円余りに膨らむとある。これを一般会計が負担し続けていけるのか。確かな将来見通しもないまま、選挙公約の実行だけを考え、料金の引き下げを行っているようにしか見えない。最終的にはその負担は、町民に跳ね返ってくるのではないか。条例改正案を認めるわけにはいかない。

委員会ノート

総務産業建設常任委員会

(3月14日)

問 緩衝帯整備事業はどの地区まで行えるのか。

答 平成30年度は紺屋町から東間地内を予定。志雄地区は現在未定。森林整備事業が実施されれば検討できる。

問 JA集出荷場の補助金について。

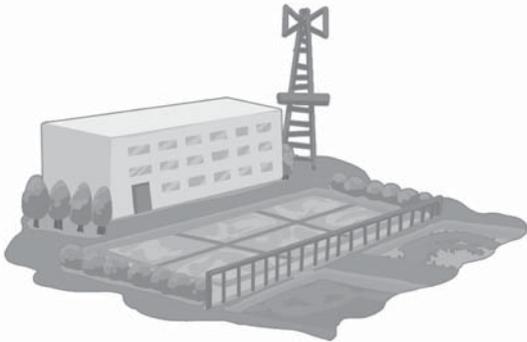
答 新たな補助金は考えていない。運営段階では改めて支援を考えた。

問 町道維持管理の除草は、業者に一括委託はできないか。

答 平成30年度より町道、町有地等の除草作業は地域整備課直営で行う。困難な箇所等は業者委託する。

問 合併浄化槽の放流管の流末は。

答 長者川が流れにくい場合は、冠水対策も含め改修する。



問 農業集落排水の統廃合計画は。

答 将来的に特定環境保全公共下水道に繋げる計画となっている。

問 下水道料金は適正金額か。

答 長期的に運営等が可能かを検討し、基本料金を500円下げた。

問 タウンミーティングでは、

下水道料金を3年毎に見直すとのことだが。

答 3年毎に、安定的な経営が可能かを考えながら料金を設定する。

問 知事選入場券が変更となり、使にくいとの声があった。なぜ、変更したのか。

答 受付時の混雑解消のため、宣誓書の事前記入ができるようにした。町民への周知を図りたい。

問 関東ふるさと会の設立助成

金内容及び継続意向について。

答 創設に係る経費の助成金。交流、情報交換を図りながら長期に渡り取り組んでいく。

問 宝達山整備事業の内容について。

答 雄池の栈橋が老朽化し危険なため、撤去する。

問 志雄中学校跡地整備内容について。

答 26年度に開催した「志雄中学校跡地利用懇話会」での活用案を踏まえ計画する。

問 3つの駅に防犯カメラを設置する計画なのか。

答 一番利用の多い宝達駅に設置し、今後は免田駅、敷浪

駅にも設置する予定となっている。

問 児童、生徒のバス停付近に暗い場所があると思われるが、防犯対策はできているのか。

答 平成30年度、照明灯や防犯灯を増設して対応する。

問 機能別消防団員はどのような活動をするのか。

答 主に日中の火災などの消火活動にあたってもらう。



価格交渉のうえ、年間委託料を算出している。

問 給食センター方式で削減はできないか。

答 本町の特色である自炊炊飯の良さを存続させたい。

問 給食費について、委託方式

による他市町の状況及び地産地消の状況はどうなっているか。

答 委託方式は本町のみであるため、他市町との比較はできない。地産地消については、県内でも高い率を占めているが、地元食材を揃える事の困難さが課題となっている。

問 宝達高校を支援する助成金及び高校への考え。

答 夢と希望が持てる特色ある学校づくりに町でも積極的に支援していきたい。

問 保育所耐震診断業務と保育所施設現状調査業務の工期がずれた理由は。

答 昭和56年度以前に建てた保育所耐震診断業務を行った

教育厚生常任委員会

(3月13日)

問 学校給食費の委託単価の算出方法は。

答 食数が減少することから、今後3か年を見越し、実績単価を基に改定単価を示し、

調査結果により、統廃合を見据え、施設現状調査の実施を検討していたため。

問 安全確保のため、駐車場から宝寿荘への道を整備する計画は。

答 駐車場から階段を使って宝寿荘へ行く計画を検討する。

問 平成30年度若者通勤サポート事業補助金の75件の根拠は。

答 2月末で54件の実績。平成28年度より増加しているため、平成30年度の増加を見込んだ。

問 墓地公園の墓地管理料は、水道料、電気料、除草代として条例改正をすればどうか。

答 利用者負担分を精査し、条例改正案を再提出する。

問 宝たち成長祝い事業の商品券の使用期限は。

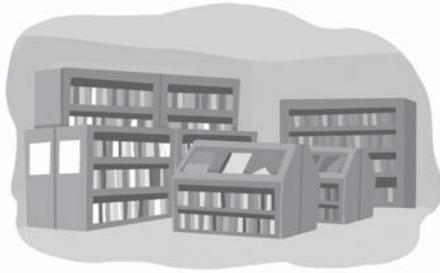
答 使用期限は5か月間となっている。

今後の検討をしてはどうか。

問 使用期限1か月前には、期限内使用の案内とアンケートを郵送している。アンケートの内容により今後も検討していく。

問 図書館に新しい本を入れてほしい要望があるが経費の判断は。

答 一般書600冊、児童書300冊購入予定。県内外の公立図書館相互の貸出も利用して対応する。



問 さくらドーム屋根修理内容は。

答 防水箇所が風化と腐食で苔が生えているため、防水シートを取り替える。

問 ボルタリングの規模と武道館の改修内容は。

答 ボルタリングの大きさは、高さ5メートル、横幅17メートル。改修内容はバリアフリー対策やトイレの洋式化、電気もLEDに取り替えるなど、施設の維持費軽減も図る。

問 ボルタリングの安全面を考えた予算になっているのか。

答 屋内用マットを7枚敷き、天井からは3メートル間隔で安全ロープを設置する。利用時にはカウンターに見守り1人を配置する。

問 お土産や受け入れ態勢が整っているマラソンに参加する傾向があるが、その対策は。

答 中継点では町のお菓子、特産物を提供する予定。

問 マラソンの交通規制の内容は。

答 交通安全協会にお願いするが、要所には警備会社にもお願いする。

問 埋蔵文化財センターの工夫、宣伝の運営は。

答 平成30年度は子供たちも参加できるように、県の事業や町公民館の協力を得て屋内講座、屋外活動を行う。

問 平成30年度での末森城の整備の内容は。

答 竹等を伐採し、見晴しの確保、城遺溝を見やすくする。

病院運営特別委員会

(3月9日)

問 看護師等修学資金の募集は、平成29年度は募集していない。

問 新病院での食器は。

答 食器を新しくし、保冷配膳車により適温で食事がとれる。

問 志雄病院の解体工事は。

答 平成29年度に予定していたが、アスベスト調査等により遅れたため、平成30年度に発注する。

表彰

柴田議員に自治功労表彰

11年にわたり議員を務めた柴田捷議員に自治功労町議会議員表彰が授与されました。



林議員に県知事表彰

5期にわたり議員を務めた林一郎議員に石川県知事表彰が授与されました。



閉会中の 継続審査

総務産業建設常任委員会

2月26日開催

【第一回JAはくい園芸総合集出荷場の建設に係る補助金計上調査】

◎補助金計上の経緯について
執行部より、補助金計上の経緯を時系列により説明。聴取のみを行った。

4月16日開催

【第二回JAはくい園芸総合集出荷場の建設に係る補助金計上調査】

◎集出荷場への出荷について
イチジク部会、ブドウ部会等のいろんな部会、農家に集出荷場に出荷する意向は確認したのか。

◎平成30年4月以降に、意向を聞いたことはない。
平成28年9月中旬の調査では、集出荷場への出荷はチンゲン菜のみとなってい

る。

◎補助金計上の基準について
時系列によると平成27年12月より検討し、町では取り扱う品目が少なく、費用対効果が少ないことから計上しない方針としてきたが、平成29年5月には計上することを決定している。

◎町長就任後、間もなく決定できた基準は何か。
平成29年5月JAはくいからの説明で施設の用途、活用、出荷品に対する価値を高めるなど、良い点があり農業振興に大いに活用していただけだと判断した。

◎職員との協議について
以前より検討してきた職員とのヒヤリングでは、計上しない方向であったこと。再調査をした形跡がない中、短期間での判断ができた理由は何か。

◎役場内での複数回の会議により、総合的に価値の高い利用価値のある施設だろうと判断した。

◎法令根拠について

平成29年12月の全員協議会の際に法令根拠についての質問に対し、後日整備しますと答弁をしているが、事前着工と分かっている、何を整備したのか。

◎法的な対応が不十分であったということは無理解、無知によるもので、申し訳ない限りである。



◎施設使用料について

集出荷場に出荷すれば使用料が必要となり、他の出荷場では使用料が必要ないとなれば、同じ農家の中でバランスが取れなくなるが、その場合の助成などの検討は行うのか。

◎同じ組合員でありながら負担のある方、ない方がいることが良いのかどうか。負担はどの程度のものなのかを見て、検討したい。

◎議会との協議について

職員から議会との協議を求められながらも、平成29年9月の全員協議会には詳細な説明は無く、同年12月議会で提案をされた。議会との協議の必要性をどのように考えているか。

◎協議は必要と考えており、きちんと協議をすべきであったと反省している。

教育厚生常任委員会

2月5日開催

【国民健康保険】

◎国民健康保険の広域化は、町にとって良いのか。
◎財政力が弱い本町にとっては、石川県内でのカバーとなるため、良いと考える。

【介護保険サービス】

◎送迎付き介護保険サービスは、なぜ2箇所に分けたのか。

◎利用者の負担がかららない送迎時間にするため。

【保育所の対応】

◎耐用年数を過ぎている保育所の対応を明確に。
◎なるべく早く、しっかりと対処したい。

5月7日開催

【宝浪漫マラソン2018】

◎参考人として、宝浪漫マラソン実行委員会会長 岡部元彦氏に出席していただき、質問に答えていただきました。



◎ボランティアについて

☐ 予算は1,500名で組まれているが、募集人数の最大3,000名となった場合、ボランティア人数は同じなのか。

☐ 各種団体から強制的に協力要請と聞いている。不満が出ないよう注意してほしい。

☐ 現在、ボランティア人数は同じと考えている。今後、詳細なことを決めて人数を確定したい。最低でも500人は必要と考えている。医師についても検討中。県内の大学にもお願いを予定している。

☐ 町民の方には、理解を得て、快くお願いしたい。

◎交通規制について

☐ 消防署前を通るが、全面通行止めなのか片側通交なのか。

☐ 病院、消防署の救急出動の配慮はどうなっているのか。

☐ 国土交通省との間では、押水バイパスから子浦交差点までを全面通行止めをす

ることとして打合せをしている。金沢方面側の車道を緊急車道として通行帯を考えている。地域住民の道が無くならないよう考慮している最中。許可が下りなかった場合は、歩道を走ってもらい、狭い場所は片側交互通行の予定としている。

☐ 今後、病院、消防署と協議し、広域連携でやっていかなければならない。

◎駐車場の確保について

☐ 駐車場の確保はどのように考えているか。

☐ 公共施設等にまだ確約はいただいていないが、1600台確保している。シャトルバスで会場まで運行したい。日本旅行と運行時間をシミュレーションして何台必要か協議している。

◎温度差について

☐ 実行委員会、町民、議会との温度差をどのように埋めていくのか。

☐ 今後、体育協会と一般の人との間に入り調整していきたいと考えている。

◎共催の町観光協会について

☐ 共催の中で宝達志水町観光協会が休止しているが、観光協会が休止していると聞いているが、問題はないのか。

☐ 3月19日に実行委員会を立ち上げた時には、坂本観光協会長にも出席していただいております。詳しいことは把握していない。観光面で協力していただけるのか、改めて確認をする。

◎報告内容の違いについて

☐ 3月定例会の説明では1,500人規模、締切時期は7月末であったが、定例会終了後の次の週には、5,000人規模と新聞に掲載されていた。議会側は何を信じ、何を持って審議するのかを、精査して説明して

ほしい。

☐ 実行委員会との連携不足も否めないが、当時聞いていた1,500人で説明をした。その後、最大の定員が5,000人と聞いた。今後は連携をとりながら、取り組んでいきたい。

【武道館改修に伴う

ボルタリングの設置

◎設置理由について

☐ いろんな協議がある中で、財政状況が厳しい中、新規にボルタリング設備を設置する理由は。県内の民間施設では設置しているが、公設の中で本当に必要なのか。

☐ 現在、流行っていることもあり、子どもから大人まで気軽に楽しめる競技である。小松、金沢の民間施設に4,5箇所ある。トレーニングルームの壁面がもつたいないことから、有効活用として設置し、体幹も鍛えられることから、設置したい。

☐ 今年の4月に加賀市の遊戯施設の中にミニボルタリ

ング設備がオープンしている。



(武道館トレーニングルーム)

◎安全面について

☐ ボルタリングの運営方針の中で、4人以上の場合は2人のスタッフを配置、利用時には一度の最高3人までの制限を設けるとあるが、2人のスタッフは必要なのか。ボルタリングの下にマットを敷くと子どもが遊んだりする恐れがあり、マットの周りに柵を設けるのか。また、天井に頭を打たないよう、考えているのか。

☐ 実際利用できるのは3人までだが、他に待っている人がいた場合は、もう一人のスタッフを配置する。子どもがマットに上で遊ばないよう、スタッフが注意する。天井に頭が当たらないよう、施工時に確認しながら実施する。

常任委員報告

北極星産業(株)
(北極星心齋橋本店)

★期日 平成30年2月19日

★目的
オムライスの新たな魅力及び地域活性化に資する可能性調査

本町が地域活性化の一策として、「オムライム町」として名前を売り出し始めて



(北橋茂登治社長と本店にて)



(北極星本店前にて)

から、約10年が経とうとしています。この間、北極星産業(株)の北橋茂外志社長のご指導の下、商工会や町内の食堂と協力しながら様々な取り組みを試みてきました。その結果としては、それなりに町のPRもでき、活性化にもつながったと思っています。しかし、現状を鑑みると閉塞感を感じ、将来展望も見えづら

いと感じています。そこで、議会としては、大阪市にある、オムライスの生みの親である、本町出身の故北橋茂男氏の北極星産業(株)を訪ね、本場のオムライスの味を再確認するとともに、現社長の北橋茂外志氏と、これからの「オムライム」の展望について意見交換をしました。その中で「オムライム」と言うネーミングはネット等で話題にはなっているもののオムライスの店が判りづらい等々が参加者の共通認識として脳裏に浮かびあがりました。議会としても色々な方策を検討し、「オムライム」の発展に寄与したいと考える次第です。



下呂市南部学校給食センター

★期日 平成30年3月27日

★目的
下呂市の学校給食取り組みの現状視察



(南部学校給食センター会議室内にて)

本町と姉妹都市提携をしている岐阜県下呂市では学校給食を5カ所の給食センターで調理、配給しています。下呂市は行財政改革の一環として公の施設の見直しを進め、前述の5カ所の給食センターを2カ所に統廃合することとしました。今回、そのうちの1カ所が3月26日にオープンしたことを機に議会とし

て、南部学校給食センターを視察しました。このセンターでは毎日600食を調理し、2台のコンテナ車で1中学校、5小学校に配送することになっていきます。配送時間は数分から長くても20分で、保温保冷の専用容器で運ぶなどして、味や温度を確保することでした。一行は、衛生上の関係から調理場内には入れず、見学デッキからの視察でしたが、その充実した施設には服部市長の小中学校の食育環境の充実を図り、安全で安心な給食の提供にける熱意を十分にうかがい知ることができました。



(服部下呂市長南部学校給食センター前にて)

町議会日誌

1月～3月

【1月】

- 5日 新年互礼会
- 6日 町消防団出初式
- 7日 成人式
- 25日 例月出納検査
- 27日 町体育協会功労者及び優秀選手表彰式
- 30日 議会運営委員会
県町村議会議長会臨時総会（金沢市）
- 11日 宝達小学校創立50周年記念式典



【2月】

- 1日 立志式
コンビニ交付サービス開始式
- 5日 広報編集特別委員会
教育厚生常任委員会
郡市広域圏事務組合
会運営委員会（羽咋市）
- 8日 消防賞じゅつ金組合議会（金沢市）
消防団員等公務災害補償等組合議会（金沢市）
- 13日 郡市広域圏事務組合
会運営委員会及び全員協議会（羽咋市）
- 14日 県監査委員協議会理事
会、臨時総会並びに研修会（金沢市）
- 15日 議会運営委員会
- 19日～20日 常任委員会
合同視察（大阪市）
- 21日 後期高齢者医療広域連
合議会（金沢市）
- 22日 郡市広域圏事務組合
会議会運営委員会及び定例会（羽咋市）
- 23日 石川北部RDF広域処
理組合議会定例会（志賀町）

【3月】

- 8日 議会運営委員会
第1回町議会定例会開
会
- 9日 議会運営委員協議会
宝達中学校卒業式
病院運営特別委員会
教育厚生常任委員会
総務産業建設常任委員
会
- 12日 小学校卒業式
議会運営委員会
第1回定例会閉会
- 14日 郡市広域圏事務組合
会
- 16日 議会運営委員会
第1回定例会閉会
- 26日 全員協議会
総務産業建設常任委員
会
- 27日 例月出納検査
郡市広域圏事務組合
会なぎさ特別委員会
（羽咋市）
郡市広域圏事務組合
議会運営委員会及び
定例会再開（羽咋市）



広報編集特別委員会

- 委員長 小島 昌治
- 副委員長 守田 幸則
- 委員 金田 之治
- 委員 久保 喜六

- 26日 例月出納検査
- 27日 県町村議会議長会協議
会（金沢市）
- 27日～28日 常任委員会
合同視察（下呂市）
- 29日 県社会福祉法人渚会理
事会（ちどり園）



平成30年6月1日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1
TEL(0767)29-8310 (直通)
FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会
広報編集特別委員会

議会を傍聴しませんか

平成30年第2回町議会定例会は6月7日開会、6月15日再会です。
町民の皆さんの議会傍聴をお待ちしております。

問い合わせ 議会事務局 TEL 29-8310



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。